

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使わないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p>!</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は、湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</p> <p>!</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

注意	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>!</p> <p>けがをするおそれがありますのでただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>
	<p>凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>!</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

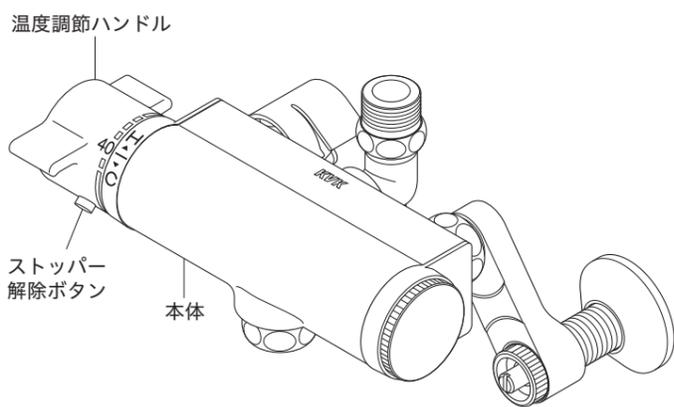
取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④ 給水圧力が0.75MPaを超えときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤ 給湯器の給湯温度は、50℃~60℃に設定することをおすすめします。
- ⑥ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑧ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑨ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

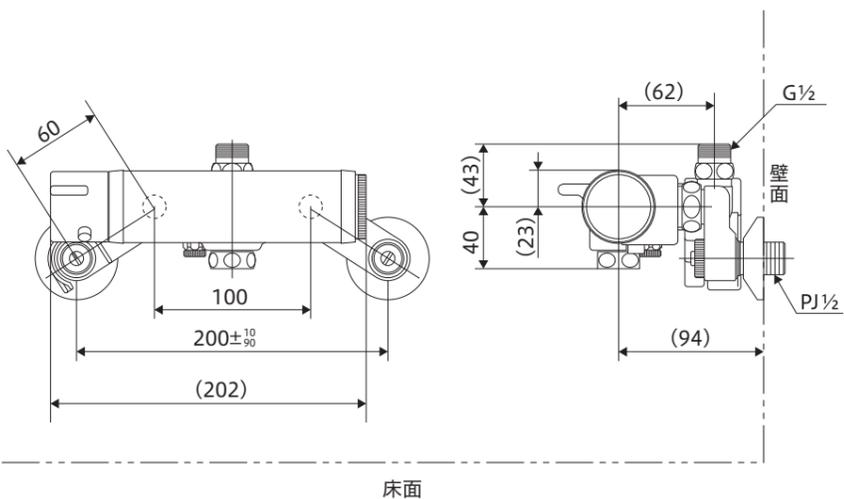
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

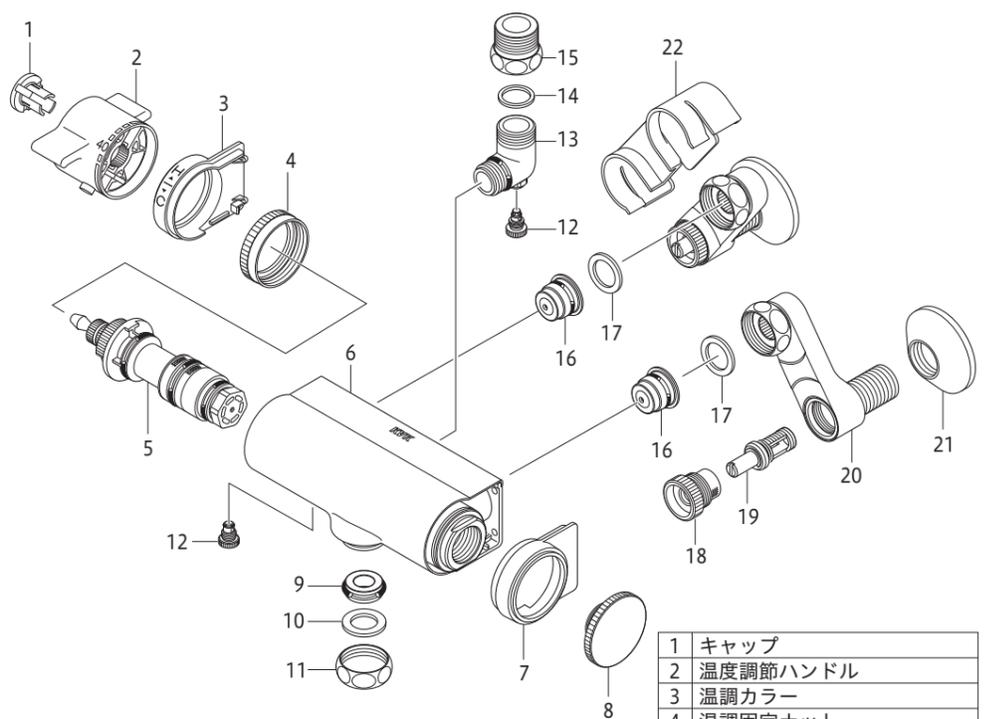
取り付け完成図と各部の名称



寸法図



分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



1	キャップ
2	温度調節ハンドル
3	温調カラー
4	温調固定ナット
5	サーモスタットカートリッジ
6	本体
7	カラー
8	化粧ナット
9	リング
10	輪パッキン
11	蓋
12	水抜き栓
13	シャワーエルボ
14	パッキン
15	アタッチメント
16	逆止弁
17	輪パッキン
18	ストレーナ
19	止水弁
20	ソケット
21	送り座
22	ソケットカバー

取り付け手順

1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け
① ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。(シールテープの巻き数にて調節してください。)
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
② ソケットと本体を接続します。
【△注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。
〈図1〉上から見た図 〈図2〉前から見た図

3 ソケットカバーの取り付け
ソケットカバーをソケットの平面部分(ソケット止水栓部裏面)に合わせはめてから、ナット部とソケットカバーを合わせます。
ソケットカバーは湯側ソケットにはめてください。

4 アタッチメントの接続
アタッチメントをシャワーエルボに接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

5 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認
【△注意】水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓からの水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ清掃のお願い
ソケットのストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、希望する温度にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法
サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。
【△注意】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
① 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込み、キャップをはずします。
④ 温度調節ハンドルをはずします。
⑤ 温度カラーをはずした後、温度固定ナットを取りはずします。
⑥ サーモスタットカートリッジを取りはずします。
(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)
⑦ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。
【お願い】・組み立て時、温度固定ナットはプライヤー等で確実に締め付けてください。
・取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

【ははずせない場合】
1. 温度カラー、温度固定ナットをはずした後、サーモスタットカートリッジに温度調節ハンドルとキャップのみを取り付けます。
2. 温度調節ハンドルを引き抜きます。

6 ページ

取り付け後の点検と清掃2

温度調節ハンドルの設定方法
工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。
温度調節ハンドルの目盛がズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度50℃~60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
⑤ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
⑥ キャップにて固定します。
【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。

7 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がたまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 給湯器の給湯温度を50℃~60℃に上げる	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」 —
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	ストレーナにゴミ等がたまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法」
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	7ページ 「温度調節ハンドルの設定方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ

404882-00